

日十三月一

常磐毎日新聞

定額一冊五錢 一月五拾五錢 郵費五厘
 廣告料五號十二字 第一行金五拾錢
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

十六羅漢の話

真繼 雲山

(一) 凡夫の心もちとしては、一分間でも長くこの世に生きてゐたいが念願であり、成らば死んでも命のあるやうにといふのが底音であるが、大地を撲つ槌は外れることありとも死なずに済む工夫は古往今來、絶對にならぬ。その惱みから抜けたのを悟りといふので、その悟つたものを佛法では四聖といつて天の師となし、これに教へられる人天以下、鬼畜の類を六凡と稱す。乞食非人でも悟つてしまへば四聖の一に入り、大臣大將も迷ふてござれば凡夫である。佛法とは或る意味では死なぬ工夫の解決策であり六凡から四聖にいたる道行を教へたものと言ひ得る。六凡の最高層が天人界であつてその壽五百歳である五百歳は永しといへども五百年に五衰の相あらはれて死なねばならぬから結局は凡夫である。

その金輪際、死なぬ身分に到るためには四向四果といふ四つの階段を踏まねばならぬ。各階に向と果との正副を分つ。下よりいへば第一が預流向、預流果、第二が一來向一來果、第三が不還向不還果、第四が阿羅漢向阿羅漢果であつて、お馴染の羅漢様とはこの界の住人である。向とは向ふの

ノット

此頃は裾のふきがだんだん小さくなつて来ましたが、ふきを作る場合ま綿だけでつくりますとどうしても綿が布目からふき出して来ますからふきが小さくともま綿の耳を切つて芯にし木綿わたをうすくして包んで入れますと形もよく工合がよろしうございます

義果とは向ふて到り得たる果體である。四段にして正副の八階に分つは猶ほ正二 明日の献立二
 【朝】 粥糸—こんにやく 薄くす汁 おろし 生姜
 【晝】 ホークスチウ—豚肉 玉ねぎ 人参 じゃが芋 鹽 胡椒
 【晚】 鹽焼き—鮮魚
 位從一位といふが如し。第一の預流向、預流果と

いふのは、聖者の流れに預かり入るの義であつて、その流れは法性涅槃の都に通ずる。大道長安に通ずといへども未だ長安を踏みたるにはあらず。その流れに預入したるもの、來向に昇り一來果にいたるといふのは今一度だけこの娑婆に生れ來るの義であつて、三毒こわしく抜け切つたといふわけにはゆかないが、修業のお蔭で煩惱の業障が極めて薄くなつてゐるので、これを「薄貪瞋痴」といひ、その僅かに残つてゐる惑の業障に引かれて今一回だけ人天に生れ還つて來るのである。



常磐歌壇

芝沼 美重
 光り陰速逝くを視聞き蒲團の上にと起きてみつ
 おふくろの齡まで三歳生きむと言ふ老爺のこゝろ想ひ淋しも
 木村 螢秋
 ぼそぼそと河鹿なく音に目ざめつゝ今宵の宿直歌詠みにけり
 校務終りて心ゆたけき今日ひと日おのづからにして親しも

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

大和田醫院



玉屋洋品店
 平町田町通電話五五六番



イヤ！ 君！
 いゝ冬服を求めたね
 断然三三年型だよ
 いやコレカネ！
 例の……「リレ」
 正札堂さ

耳鼻咽喉科専門
 平町田町七〇番地
 山内醫院
 醫學士 山内亨吉
 電話六九一

節分豆まき會

一日時 二月三日(舊曆正月九日午後一時)
 一場所 縣社子鐵倉神社
 一歳男 各町の世話人又は事務所(平町紺屋町柳下方)迄に申込まれたし
 主催 福和內會
 會費廿錢 (福豆及び神札呈上)

全外科

醫學博士 渡部
 平町田町大通り(電話二七七番)
 渡部外科

中村齒科醫院

平町鍛冶町七

衣流れ 質裳 大廉

三丁目通り
 旭屋衣裳店
 電話四二五番

暫く御預りを控へて御迷惑をお掛けして居りましたが整理も一段落告げましたので従前通り夜間九時までお預りを再開致しましたから御利用御引立を御願申します。
 一六銀行係

内科 一般

平町新川端(釜屋新宅向)
 醫學博士 難波 陸
 電話五〇二番

月曜是非

町の財政と町民

平町役場は目下來年度の豫算編成の爲め晝夜兼行大童の活動中である。殊に青沼町長が新任最初、手を廻める豫算編成であるだけに今度の豫算は、青沼町長の抱負経倫の一端を反影する意味からも注目の價充分であらう。

金錢上のことは何人にも解りが早い、然るに町民の中には、町の豫算等に對して馬耳東風に聞き流す者がある、或はこれを對岸の火災視する者がある、甚だしきは町の財政等に就いては町會議員にお委せしてあるから、我々は門外漢で少しも興味を持たない等と高言するものもある。

そんな態度の町民が多數とは云はないけれども、少數でもありとすれば、そんな迂闊な冷淡な町民を持つ平町は甚だ禍なる哉である。平町としては今後益々爲すべき事業が山程ある、従つて財政は膨張するの一方である、一家の經濟であるならば入るを計つて出すのが原則であるから、事簡單であるが町の財政は收入以上に支出の必要がある場合には増税をするか、もしくは町債を起してこれを填補しなければならぬ、平町の如き新興都市に於ては臨時の歳出が殖えることは我々負擔者としての町民は充分承知して置く必要がある

これを町長にのみ責任をもたせて町民が安閑として居るわけには行かぬ、まして町議の人々にのみ任せざるわけにもゆかない、負擔者である町民は財政の筋途をよく知つて、町の算盤勘定が暗礁に乗り上げる事のない様に責任の一端を分つ覺悟を持つべきであらう。

廿六の組合が 百卅萬の貸付

郡下産業組合概況

石城産業聯合會で調査した舊臘現在の郡下産業組合の成績を見ると組合数が廿六で是の人員八千六百六十名總資本金は五十九萬四千七百三十七圓二十錢、貸付金百三十八萬三千三百五十三圓四十一錢、準備金が廿一萬四千七百三十七圓廿錢、借入金金が四十一萬三千六百三十六圓卅三錢、貯金高六十

ウサギが賣れる

陸軍の防寒具用に

石城郡下農村には最近副業として養兔事業が普及し是れが指導並に販賣に就いて郡農會宛に照會する者が多きが主に陸軍の防寒具用食糧用等に賣行があるのので郡農會では數日前より地元兎肉商の取引相場及び陸軍省の買上値等に就いて調査を開始した

教務主任

第一回協議

石城郡下各小學校第一回教務主任會は來月二十五日午

大馬方の漁港工事

けふ先づ起工式を擧ぐ

既報石城郡江名町字中ノ作漁港修築工事起工式は本日午前十時より中ノ作折戸兩部落の中間地海岸に於いて知事代理として赤土内務部長始め小田部平署長小林平士木監督所長其他關係者三百餘名列席の上舉式されたが明日より直ちに本格的な工事に移る豫定であると

更生の實を擧ぐる

福島貯蓄の躍進振

昨年四月から平町に支店を設けた福島貯蓄銀行の業績を見るに 一切税金がかゝらぬ特典と預金の三分の一は常に公債等を以つて政府に供託し預金を保證して居る點が他とは趣きを異にし縣廳が大株主として監督して居る點から推しても同行の發展は期待される因に

平信用

總會

平信用組合は明州一日午前九時から庶民金庫に於て總會を開き昨年度の決算及び監事の改選、信用評定員

卓球大會

磐城高等女學校に開かる

磐城高等女學校にては來月四日校内個人選手権ピンポン大會を開演するが併せて職員一同の紅白試合を催すと因に當日のメンバーは左

の如くである

- △紅組 大内 志村 鈴木
- 中川 校長 日野 金澤
- 小沼 鈴應 佐藤 酒井
- △白組 田中 土岐 安延
- 菅波 永島 淡路 新妻
- 山口 穴井 森 大川

平町人事

- △鎌田四八 當時横濱市中區中村町九七半塚常松氏
- 二女千恵子
- △長橋町二九 當時双葉郡浪江町字小關三七松田金太郎氏四男喜久彌
- △四丁目十一 當時茨城縣助川町二七八小齋宗良氏長女君

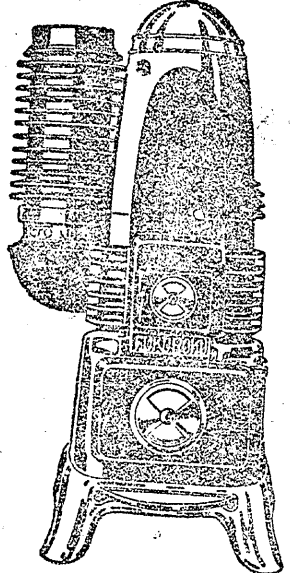
市原醫院

山崎合名會社 電話一〇番 平町田町 電話一一四番

美味! 芳醇! 宗正らひた

嚴冬の征服者

福祿ストロップ 戸に毎に福祿!!!四海は常春!!!



電話三七番へ カタログ御申下さい、早速持參致します 福祿ストロップ福島縣一手販賣 阿部石炭商店 平停車場前

感激に満ちた

昨日の凱旋歓迎會

生徒等の合唱に答へて…… 勇士が滿洲行進曲を歌ふ

平町役場平在郷軍人分會、平青年團、平消防組、平町各區長、平町婦人團體主催の凱旋勇士歓迎會は既記の如く廿九日

谷四三郎 梅香町猪狩數
三 鎌田町小林隆雄 四
丁目志賀豊晴 三丁目柏
原英介 二丁目板橋芳夫
長橋町菅野淺雄 田町大

鳥熊一 研町佐藤亥之吉
南町長谷川芳夫 正月町
木村石三 中町水野喜平
一丁目長瀬惠太郎

不渡手形で

三千數百圓横領

フオード詐欺豫審終結

平町南町十八番地自動車販賣業佐藤巖(四)に對する詐欺及び業務上横領事件は過般來平支部に於て荒井豫審判事係り審理中の處有罪と決定來月七日午前九時より中島裁判長係り開口、竹内兩判事陪席上田檢事立會の下に公判開廷される事になつたが事件の内容は昭和五

年九月頃より平町二丁目九番地に於て日本フオード自動車株式會社の特約販賣店を經營中小名濱町鈴木文十郎外數名より自動車代其他修繕費を詐取した外不渡手形を振出し合計三千數百圓を横領費消したるものであり

入學關係書類の

請求既に百餘名

磐城女志願四百名突破か

磐城高等女學校に於ける入學試験期日も後二ヶ月後に接つたが本日早くも茂城縣關南小學校より五名の入學申込者あり其他入學關係書類の請求者は百名にて此分

では志願者が四百名以上に達するのではないかと見られて居る

十七娘誘拐か 平町材木町生れ目下仙臺市二十



今晚は北西の風晴れ曇り相半し明日は天氣よき見込み

報豫氣天

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
お話し「茶の出来るまで」
瀧恭二
後六、二五 英語講座
「初等科」岡倉由三郎
後七、三〇 第二師凱旋の夕狀況(仙臺市公會堂)

興村講習

渡邊村に開く

石城郡渡邊村實業補習學校及び産業青年聯盟聯合の興村講習會は來月一日午前九時より同村小學校に開催されるが講師として縣の厚山教育主事が臨席する

大尉「吹奏榮と軍歌」陸軍戸山學校軍樂隊指揮伊藤隆一
後九、三〇 時報 全國ニュース 氣象通報 番組豫告

結婚を嫌つて逃走

平町で女給を志願

廿九日午後十時頃平町前カフエータイラ方の前を行つたり來たりして居る若い女性を密行中の平署員が怪しみ事情を聞くと同人は茨城縣眞壁郡兩引村横田春造長女アサ(三)で最近兩親から嫌ふ結婚を強ひられ廿八日無断家出し平町で女給にならうとして居た事判明目下兩親に照會中である

の爲め縣社子鐵倉神社に結婚式具一揃へを寄贈した

ビンナガ

七百餘本

磐城丸が漁獲

既報石城郡小名濱町水産試験場指導船磐城丸は千華縣沖合で鮪漁場視察中ビンナガ七百餘本を漁獲此程小名濱に入港したと

厄拂ひに

結婚式具

平町五丁目井上貞治郎氏は今年厄歳に當るので厄拂ひ

明日の湯本町
消防で賑ふ

明日の部

前九、一〇 料理献立
「鮮の大和蒸し」松本良雄
前一〇、三〇 婦人講座
「最近婦人文藝界雜話」生田花世
後〇、〇五 落語「お好み

寒稽古の賞状

平商業學校柔剣道部にては來る二月二日寒稽古納會を舉行し皆勤者百五十七名に對し各賞状を授與すると

平裁判たより

双葉郡木戸村大字前原九番地農關本眞壽(三)に對する傷害事件の判決は本日午前十時平區裁判所に於て中島判事より科料十五圓を言渡された

回人を求める方
△自動車助手 十七才 高卒 仕着小遣二三名(平町某)

平職案紹介所報告

回人を求める方
△雑夫 二十才 尋卒 月五六圓(江名町某)

送別辯論大會

平商業學校にては來月下旬辯論部主催にて卒業生送別辯論大會を開催すると

△雑夫 六十才 高卒 給料面談(平町某)



【藤原御前上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百五十四席

千葉周作

友藏うまく騙さる

友藏は馬藤の話を開いて

友「王子の三五郎のところ

に旦那方が集まつていたづ

らをしてゐると」

藤「さうだ今も云つた通り

何し様錢があつて暇のある

人間が集まることゝてそれ

は大した勝負が出来、初

めて行つた時に吃驚してし

まつた千兩箱を馬の脊に積

んで運んで来てね」

友「馬鹿なことを云ふな」

藤「それは嘘だが遊びに来

る者が大百姓の隠居だとか

寺の和尚だとか又は料理茶

屋の亭主それに大地主金の

あること十兩や二十兩は金

とは思はねえ一勝負に百兩

位そこをトントンと二三番

受けると三百兩や四百兩は

きつと儲かる何うだねえ見

い出かけては」

友「行つて見たいものだな

しかし千住の友藏だと云つ

ては堅氣は相手にしなから

う」

藤「だからさあ前さんもい

るところの旦那のやうにな

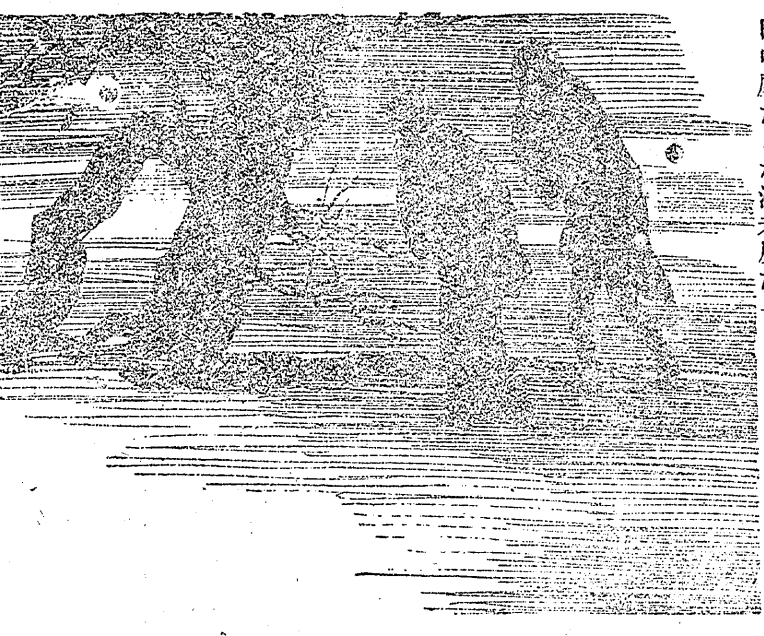
つて出かける、わつちが供

をして行く」

友「さうか何んと化けて行

つてよいか」

藤「さうだねお前さんは化



藤「田中屋だとか海老屋だ

にしては」

友「ウムそれがよからう」

藤「その位あつたらよから

う」

藤「さうですな、多いのに

越た事はねえが千兩二千兩

と持つて行く事も出来な

らう」

友「今茲に五十兩よりねえ

が、これでもよいか」

藤「五十兩、それは少く足

りねえ、なるべく餘計持

て行つた方がよい、利は資

本にありと云つて資本が澤

山あると氣丈夫だから勝負

ごとに勝つ、して見れば資

本は大事だ」

友「それではもう十兩も持

つて行くことにしよう」

藤「その位あつたらよから

う」

藤「さうですな、多いのに

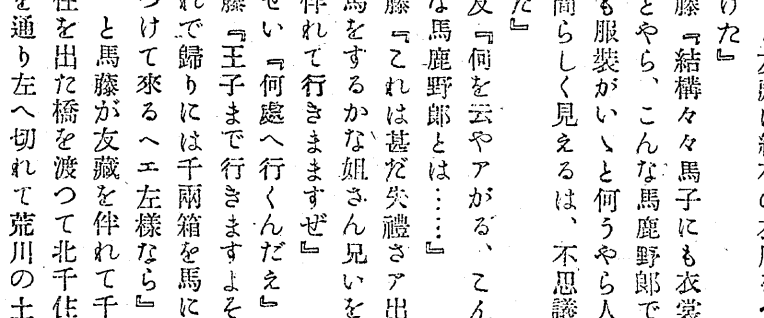
越た事はねえが千兩二千兩

と持つて行く事も出来な

らう」

友「今茲に五十兩よりねえ

が、これでもよいか」



藤「さうですな、多いのに

越た事はねえが千兩二千兩

と持つて行く事も出来な

らう」

友「今茲に五十兩よりねえ

が、これでもよいか」

藤「五十兩、それは少く足

りねえ、なるべく餘計持

て行つた方がよい、利は資

本にありと云つて資本が澤

山あると氣丈夫だから勝負

ごとに勝つ、して見れば資

本は大事だ」

友「それではもう十兩も持

つて行くことにしよう」

藤「その位あつたらよから

う」

藤「さうですな、多いのに

越た事はねえが千兩二千兩

と持つて行く事も出来な

らう」

友「今茲に五十兩よりねえ

が、これでもよいか」

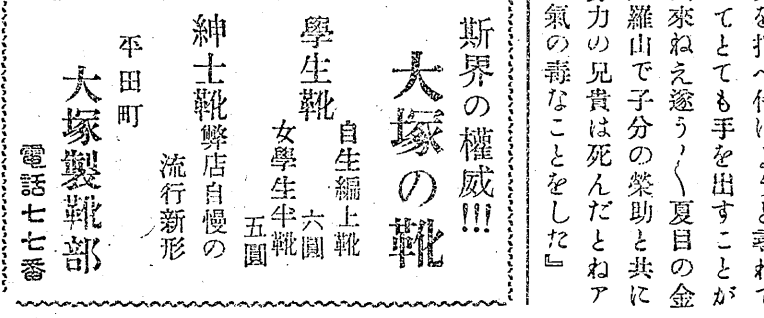
藤「五十兩、それは少く足

りねえ、なるべく餘計持

て行つた方がよい、利は資

本にありと云つて資本が澤

山あると氣丈夫だから勝負



藤「さうですな、多いのに

越た事はねえが千兩二千兩

と持つて行く事も出来な

らう」

友「今茲に五十兩よりねえ

が、これでもよいか」

藤「五十兩、それは少く足

りねえ、なるべく餘計持

て行つた方がよい、利は資

本にありと云つて資本が澤

山あると氣丈夫だから勝負

ごとに勝つ、して見れば資

本は大事だ」

友「それではもう十兩も持

つて行くことにしよう」

藤「その位あつたらよから

う」

藤「さうですな、多いのに

越た事はねえが千兩二千兩

と持つて行く事も出来な

らう」

友「今茲に五十兩よりねえ

が、これでもよいか」

藤「五十兩、それは少く足

りねえ、なるべく餘計持

て行つた方がよい、利は資

本にありと云つて資本が澤

山あると氣丈夫だから勝負

ねえ」
友「これから、何う行くの
だ」
藤「小臺の渡船を越て尾久
から王子と入つて行きませ
うねえ兄い人の噂で聞いた
が死んだ親分のあととは甚
なつたさうです」
友「甚くなつたとは何うい
ふわけか」
藤「細張りは一ヶ所も残つ
てゐねえさうで親分が死ね
と萬歳の勢力兄いが親分の
敵と助五郎を狙つたが何に
しろ向ふは銚子の御陣屋の
御用を聞いてゐるから八州
役人に頼み込んで勢力の兄
貴を押へ付けようと思つて
ゐてとても手を出すことが
出来ねえさう、夏目の金
比羅山で子分の榮助と共に
勢力の兄貴は死んだとねえ
一氣の毒なことをした」

斯界の權威!!!

大塚の靴

自生編上靴 六圓
女學生半靴 五圓
紳士靴 流行新形

紳士靴 流行新形
大塚製靴部
電話七七番

平町南町
看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
看護婦急派
の求めに應
じます

平町南町
看護婦急派
の求めに應
じます

家庭温泉御案内

日本一の靈湯草津の源泉に化學的操作を加へたる
草津の湯の素 家庭風呂に外用に!
温泉水の湯の素 冬の保健衛生に最も
心地よく温まり絶對に湯冷めせず湯上り氣分價千
金一家揃つて居ながらにして温泉氣分を味へ其上
一切の難病を征服する靈湯なり。
冷性の方、しもやけ、火傷、外傷、婦人病、痔
疾、神經痛、リウマチス、皮膚病、
其一ら消毒用として特効あり。
定價(一〇〇瓦入凡 五日分 五十錢
二五〇瓦入凡 十二日分 一〇〇圓
六〇〇瓦入凡 三十日分 二〇〇圓
其他浴場用旅館用大徳用あり、試用分無代進呈
いたします。... 煙突掃除樂も販賣致します。
石炭の御用命と共に是非御使用を御奨めいたします
海峽線 代理店 石炭商 伊藤軍二商店
平町一丁目電話三四九番
販賣元草津温泉研究所營業部
特約販賣募集 各町村一ヶ所に限る御中越あれ
特に御相談に應ず。

平新川町十九

木村病院

産婦人科 院長 木村寅次郎
婦人科 電話一六四番
内臟外科 醫學士 内 木宗八
整形外科
器泌尿科

漆器を!!!

御贈答に!!!
記念品に!!!
諸景品に!!!
誠實勉強
親切第一
在庫豊富
是非御用命を
ドコヨリモ、ヨイシナラ、ドコヨリモ、ヤスクウ
ル、ヌルモノミセ
平町三丁目北裏(元郵便局裏通り)
各國産漆器
専門卸小賣
漆器店
電話三〇七番

漆器店
電話三〇七番